



こんなことあったよ！ のしろ白神ネットワークの活動レポート

令和3年9月14日(火)
木の香るみちづくり 秋田自動車道・秋の植栽 編

平成28年から秋田自動車道横手IC～秋田南IC間供用開始25周年記念事業のひとつとして、また、休憩施設の景観向上対策として始まった八郎湖サービスエリアと太平山パーキングエリアへの秋田スギ製ハニカムプランターの設置とそれを活用した植栽活動は毎年の恒例事業となり、今年も春*の植栽に引き続き、9月14日、秋の植え替えを行いました。

当日は朝から曇り空でしたが、参加した皆さんの日頃の行いが良かったのか、次第に晴れ間もあり、気温も24度前後で絶好の植え替え日和となりました。

10時に八郎湖サービスエリア(上り)に集合し、「花まり」中川さんとスタッフの方、木高研の渡辺先生、ネクスコ2名で鉢の植え替え、ハニカムプランターの清掃を分担して行いました。例年であればブルーシート上で屈んでの作業となり、体がつらいと根を挙げていたところですが、今回は作業台を持ち込み、作業の進捗も順調でした。春の植栽後は高温が続き、花にも大分ダメージが蓄積されていたので、108の鉢植え全ての植え替えを実施しました。

今回は、開花期間の長いキバナコスモスやセンニチコウ、寒さに強い多年草のシュウメイギクを始めとした花群で、これから水やり、花がら摘み等定期的な手入れを行うことで、冬の訪れが感じられる11月初旬頃までは元気な花を咲かせてくれることと思います。

現在も新型コロナウイルス感染症については、未だ収束の気配は見せていませんが、高速道路を利用されるお客さまが、八郎湖サービスエリア、太平山パーキングエリアに立ち寄られた際に、「ほっと一息」できる癒しの空間を提供できれば幸いです。

文：大江田 好二

*4月8日の活動レポート参照



足腰が痛くならずに済むよう作業台を持ち込みました。古い株を抜いて新しいものを植えたり、それらに水をやったりと作業を分担して進めます(上)。
鉢カバーの虫や枯葉等の汚れも洗い流します(下)。



今回は、寒くなってくる季節に暖かみが感じられる色合いの花を植えています(上)。背の高いものやこんもりと茂るものが順調に育ち、立ち寄られた方々に遠くからでも楽しんでいただけるようになることを願っています(下)。